

ふくしまで働く・暮らす・新しい私

ふくらす

FUKURAS



地域
密着

学びと出会いの拠点紹介

移住者と地域住民が自然につながり
学び合える交流・教育施設をご紹介します。
地域に溶け込むきっかけとなる拠点です。



大熊町立 「学び舎 ゆめの森」

0歳～15歳の子どもたちがともに学び
「学びの自己マネジメント力」を育む

住所：福島県双葉郡大熊町大字大川原字南平2019番1
電話：義務教育学校＝TEL0240(23)5341
認定こども園＝TEL0240(23)4462
受付時間：8:30～17:15(土・日曜日、祝日を除く)



大熊町にある町立の学校「学び舎 ゆめの森」。義務教育学校と認定こども園があり、0～15歳までの子どもたちがともに学ぶ環境を生かしたシームレスな学びを展開。一人一人が自己マネジメントの力を育成し、好きなことに夢中になれる授業を行っています。

本の広場を中心に自由に学びをデザイン

校舎の中心にある吹き抜けが開放的な「わくわく本の広場」。寄贈された本をはじめとし、約2万冊以上の本が収蔵されています。子どもたちが直感的に本を選びやすいよう、ゆめの森独自のテーマで本を配架。2階にも至るところに本棚があり、「創作工房」の近



くにはものづくり、「サイエンスラボ」の近くには理科や生き物に関連した本が並ぶなど子どもたちの好奇心を刺激する工夫がいっぱいです。秘密基地のような本棚遊具もあり、自然と本に触れ、楽しめる環境が整えられています。

探求を深化させる深い学びを実現

ゆめの森にはチャイルドや四角い教室はありません。ホワイトボードがあればどこでも教室になる自由な学び場。自由進度学習の手法を取り入れ、一人一人の習熟度に応じて学びを最適化します。



毎日25分間の「レベルアップタイム」を用意。一人一人が計画的に自由に使える時間で得意なことを伸ばします。夏休みなど長期休業の宿題も自分で設定し、「できた!」という自信につなげます。



産業交流施設 「CREVA おおくま」

「ここからつながるものがたり、
大熊町の玄関口に交流エリアが誕生

住所：福島県双葉郡大熊町大字下野上字大野116-5
電話：0240-41-9959(管理室)
開館時間：8:00～20:00 ※「ANALYSIS LAB.」は10:00～16:00、「中間貯蔵事業情報センター」は9:00～17:00(最終入館16:30)。
定休日：年中無休 ※施設メンテナンスで臨時休館する場合もあります。「ANALYSIS LAB.」「中間貯蔵事業情報センター」は火曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始



2025年3月にJR大野駅前にオープン。多目的ホールやコワーキングスペース、貸会議室などを利用できます。分析をテーマにしたJAEAの情報発信スペース「ANALYSIS LAB.」や「中間貯蔵事業情報センター」の展示を通して復興や研究について学ぶこともできます。



「とみおかアーカイブ・ミュージアム」

約5万点の資料を収蔵
富岡町の歴史と震災・原子力災害を後世に

住所：福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚760-1
電話：0240-25-8644
開館時間：9:00～17:00(最終入館16:30)
定休日：月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始



富岡町が整備する博物館。「複合災害を地域の歴史に位置づける」を目標に、町で受け継がれてきた地域資料や震災遺産など約430点の資料を展示しています。震災の経験だけでなく、富岡町の成り立ちやまちづくり・産業など地域の特徴を継承・発信する拠点です。

2025年
神奈川県から

大熊町へ

移住を考えている方へ

少しでも「気になる」という気持ちがあれば、まずは移住相談センターで話を聞いてみるのがおすすめ。生活の希望や仕事について親身に相談に乗ってくれるので、自分のペースでじっくりと移住を考えることができます。私たちは移住前に「お試し住宅(P7)」を利用しました。実際に暮らすことで、昼だけでなく夜の雰囲気も体感でき、住んだ後のイメージがぐっと具体的になります。

「自分にも何かできることを」 ゆかりの地で新しい挑戦へ

葦駄天おおくま店

小堀和正さん
裕美さん



2025年3月、大熊町・大野駅前にオープンした「クマSUNテラス」にある飲食店「葦駄天おおくま店」で働く小堀さん夫妻。和正さんの母の故郷でもある大熊町は、子どもの頃、夏休みなどに訪れていた思い出の場所だそう。

「福島は第2の故郷のような場所で、震災後もずっと心に残っていました。そんな中、東京で移住イベントに参加し、福島での暮らしを改めて考えるようになりました」。

転職となったのは、千葉町で開催された「Jヴィレッジハーフマラソン」への参加。「大熊町に宿泊し、整備された大野駅前の新しい風景を見て、復興の歩みを実感。ここで何かしたいという思いがより強くなりました」。

その後、移住相談のため福島を訪ね、「複数の市町村を回って生活環境などについて情報収集を重ねました。ゆかりの土地であることや家族への思いもあり大熊町への移住を決めました」。

製造業から未経験の飲食業に転職。現在はホールスタッフとして働いています。「同業種での仕事を探していましたが、地元や趣味が同じという社長に縁を感じ、ここで働くことに。毎日たくさんの人と出会えるのが楽しい。生活循環バスやデマンドタクシーも整備されているので昼はもちろん、夜にも地酒を楽しむ場としてにぎわいが生まれています」。

休日、夫婦でランニングを楽しむそう。「町全体がのんびりしていて走りやすく、自然を感じながらリフレッシュできます。12市町村はスポーツ施設やマラソンイベントが充実しているのでランナーにも魅力的な環境です」。

また、生け花や茶道など多彩な趣味を持つ和正さん。「自分の好きなことを町の活性化に生かそうと企画を練っているところなんです。地域の後押しもあり、意欲が高まっています。最近、YouTubeでの発信もスタート。魅力の発信にも力を入れていきたいです」と話します。

請戸漁港(浪江町)から直接仕入れた魚を盛った「請戸盛り定食」



葦駄天おおくま店

大野駅前の憩いの場「クマSUNテラス」内にある飲食店。請戸漁港で獲れた魚「請戸もの」や福島の日本酒に合う料理を提供しています。昼にはボリューム満点の「唐揚げ定食」や丼ぶりメニューなども用意。旬の恵みで地域で働く人や観光で訪れた人に活気と笑顔を届けています。

TEL 0240 (23) 7616
福島県双葉郡大熊町大字下野上字大野 116-6
クマSUNテラス内
営業時間 / 11:00~14:00 (13:30LO)、
17:00~21:00 (20:00LO)
定休日 / 日曜日

葦駄天おおくま店
ホームページ



2025年
長崎県から

双葉町へ

移住を考えている方へ

新しい建物や仕事が増え、自分に合った働き方がきっと見つかる場所。挑戦もしやすく、移住のサポートが手厚いのも魅力です。住んでいる大熊町では夏祭り・ウオーキング大会・ワークショップなど交流の機会も豊富。毎週違う過ごし方ができるぐらい、日々に変化があって楽しいです。さらに福島県はエリアごとに気候や文化が違うのも特徴！ それぞれの地域の魅力を楽しんでいます。

放射線の研究をきっかけに ふくしまで見つけた暮らし

東日本大震災・原子力災害伝承館 研究員

眞島 杏佳さん

大学時代に放射線の研究に取り組み、診療放射線技師の国家資格を取得。現在も長崎の大学院で研究を行っている眞島さん。移住のきっかけとなったのも放射線研究でした。「大学院に進学してから、年に2〜3回は出張で福

島を訪れていました。訪れる度に復興が進み、まちの姿が変わっていくのを実感。今後は復興のフェーズに合わせた研究に携わりたいと思い、移住を決めました。距離は遠いですが、何度も訪れていたのが不安はありませんでした」。

放射線に興味を持った原点は、東日本大震災と原発事故でした。「子どもの頃にニュースで放射線を知り、『放射線って何だろう？』と調べ始めたのがきっかけです。目に見えず触れることもできない不思議なものが、医療ではレントゲンやCTなど、人の役に立つ側面もあります。環境中の放射線について研究を行いながら、放射線やその影響について一般の方に知っていただきたいと思い、研究員の道を選びました」。

現在は大熊町や大熊町をはじめとする特定帰還居住区域で空間線量率を測定、データ

を収集。データをもとに環境中の空間線量率を分かりやすく可視化したマップの作成をしています。研究活動の根拠にあるのは福島復興や社会に貢献したいという思いです。「放射線リスク管理を行う上で参考になればと考えています。移住を考える方にとって、居住地域の環境は気になるポイント。誰にでも伝わる形で情報を届けていきたいです」。

福島で実際に暮らすようになり、復興の歩みを身近に感じられるようになったといいます。「もとの風景を大切にしながら、新しいまちがつくられていく様子を見守れることも、ここで暮らす魅力の一つです」。

「これからも放射線リスクに関する研究を続けながら、浜通り地域におけるまちづくりに貢献していきたい」と語ってくれました。

双葉町や大熊町などを回り、空間線量率を測定

東日本大震災・原子力災害伝承館

地震・津波・東京電力福島第一原発事故の複合災害の実態や復興の歩みを伝える県立の震災伝承施設。原子力災害を中心とした展示や住民の語り部講話を実施。震災の記録を防災・減災に役立てています。団体向けに被災地をめぐるフィールドワークなどの研修プログラムも行なっています。

TEL 0240 (23) 4402

福島県双葉郡双葉町大字中野字高田 39

開館時間／9:00～17:00（最終入館 16:30）

休館日／火曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始（12月29日～1月3日）

東日本大震災・原子力災害伝承館
ホームページ



移住を考えている方へ

夏が涼しく、夜は星空が美しい葛尾村。自転車レース「ツール・ド・かつらお」の開催地としても知られ、自然を身近に感じる環境です。移住前には一度その街を訪れ、季節ごとの暮らしやすさを実際に体感しておくことが大切。特に雪が降る時期など生活のイメージが具体的になり、移住後のギャップを減らすことができます。

葛尾村の胡蝶蘭で幸せを届ける 日本一の生産地を目指して

かつらお胡蝶蘭合同会社

丸山 剛史さん

葛尾村で、新たな産業として胡蝶蘭の栽培が始まったのは、避難指示が解除された翌年の2017年。復興の象徴となる産業を目指し、「かつらお胡蝶蘭合同会社」が立ち上げられました。もともと群馬県で洋ラン栽培に携わって

いた丸山さん。その経験と技術を見込まれて創業メンバーから声がかかり、葛尾村への就職を決めました。「胡蝶蘭は主に贈り物として親しまれる『幸せを運ぶ花』。復興のシンボルにふさわしい存在として選ばれました」。

「胡蝶蘭は温度管理がとて重要な植物です。ハウスで育てていますが、葛尾村は標高が高く、夏でも比較的涼しいため栽培に適した環境。阿武隈高地に囲まれているので日照時間にも気を配っています」と丸山さん。冬は氷点下まで冷え込むため、太陽光発電等の一部を再生エネルギーとして使用しながら、エコで効率的な温度管理に取り組んでいます。持続可能な栽培を実現している点も特徴の一つです。

ここから出荷される胡蝶蘭にはブランド名である「ホープホワイト」のタグがつけられ、

「花が大きく、肉厚で長持ちするのが特徴。苗は台湾で育てられた優秀なものを使い最高級品に仕上がっています。いつでも高品質な胡蝶蘭を提供できるよう、丹精込めて育てています。ただ、どれだけ環境を整えても、花が咲くタイミングを完全にコントロールすることはできません。贈答用ということもあり病気や害虫、傷などには細心の注意を払っています」。

「ホープホワイト」は2018年に復興大臣賞を受賞しました。「ここで作った胡蝶蘭が全国に届き、評価してもらえることが何よりうれしい。その積み重ねが葛尾村の復興につながっていくと信じています。葛尾村を日本一の胡蝶蘭生産地にすることが私たちの目標。葛尾村の胡蝶蘭で多くの人に幸せや喜びを感じていただきたいです」と話してくれました。



葛尾村の最高級胡蝶蘭「hopewhite (ホープホワイト)」



かつらお胡蝶蘭合同会社

葛尾村で畜産や農家を営んでいた3農家と1企業の有志が集まり立ち上げられました。福島県や首都圏の花き市場を中心に、全国に年間約5万5000株の胡蝶蘭を出荷。最高級胡蝶蘭「ホープホワイト」として親しまれています。その他、胡蝶蘭以外の洋ランも栽培しています。

TEL 0240 (37) 4380
福島県双葉郡葛尾村大字落合字菅ノ又 148-2
営業時間 / 9:00~16:00
定休日 / 不定休

かつらお胡蝶蘭合同会社
ホームページ



檜葉町へ

世界最大級の「おいも熟成蔵」 福島をさつまいももの産地に！

福島しろはとファーム 農業 Division

瀧澤 芽衣さん



移住を考えている方へ

「この町で何をしたいか」、「この町で
する意味は何か」という移住の目的を
明確にすることがとても大切です。仕
事や暮らしの条件だけでなく、自分が
その土地でどんな関わり方をしてい
たいかという視点があると、暮らしが
より豊かになるはず。受け身ではなく
「自分から縁を作っていく」という意識
を持つことでどんな状況でも前向きに
自分らしく楽しんでいけるとと思います。



地域の人を招いた「苗植え会」などを企画。農業を体験するきっかけに

檜葉町にはさつまいもを軸
にした新たな産業が生まれて
います。その拠点となってい
るのが、世界最大級の甘藷貯
蔵施設「檜葉おいも熟成蔵」
ここで企画などの取り組みに
関わっているのが瀧澤さんで
す。もとは茨城県「らぽぽ

なめがたファーマーズヴィ
レッジ」で企画運営に携わっ
ていましたが、実績を買われ
福島でのプロジェクト立ち上
げメンバーに抜擢されました。
「移住のタイミングが結
婚・出産と重なってしまい、
正直、不安が大きかったです。
けれど、自分にできることを
まずはやってみようと決断し
ました」と振り返ります。

檜葉町にはさつまいも栽培
の実績がなく、土づくりから
スタート。「2017年に1・
5畝だった自社農地は現在で
は40畝まで拡大しました。温
暖で雪が少なく、栽培には適
した気候。町の協力もあり安
定的な生産に成功しました」。

収穫されたさつまいもは、
熟成蔵で2〜3カ月寝かせる
ことで甘みを引き出し、加工
用の材料として自社グループ
工場へ出荷。運営する白ハ
トグループで掲げるのは「育む・
つくる・伝える」を一貫して
行う6次化産業です。「福島
でも生産から加工まで一貫し
てできる体制を作りたい。さ
つまいもを地域の価値にブラ
ンドとして確立していくこと
が目標です。品質を高めるた
め、現在は耕地面積の拡大に
さらに力を入れています」。



株式会社 福島しろはとファーム

大阪府で「らぽぽ」を経営するさつまいもの専門食品メ
ーカー「白ハト食品工業」のグループ会社。檜葉町と協定
を締結し、育苗から収穫、熟成まで一貫して行っています。
「檜葉おいも熟成蔵」から出荷されたさつまいもは大学いも
などに加工され、全国のコンビニやスーパーに並びます。

Tel. 0240 (23) 4172
福島県双葉郡檜葉町大字前原字浜城 1

株式会社 福島しろはとファーム
ホームページ



Q. 「ふくしま12市町村」ってなに？ 移住者ってどのくらいいるの？

A. 「ふくしま12市町村」とは、東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い、避難を余儀なくされた12市町村（田村市・南相馬市・川俣町・広野町・楡葉町・富岡町・川内村・大熊町・双葉町・浪江町・葛尾村・飯館村）のこと

令和7年度の福島県の移住世帯数・移住者数は3044世帯・4033人。平成18年度の調査開始以来、最多を記録しました。12市町村の移住世帯数・移住者数は令和3年度の326世帯・436人から増加し、令和7年度には727世帯・975人と約2.2倍の人数に達しました。 ※出典／「令和7年度移住世帯数・移住者数について」（福島県企画調整部ふくしまぐらし推進課）

～ふくしま12市町村への移住支援金～

世帯移住の方に200万円、単身移住の方に120万円を給付します（その他、子育て世帯や医療等従事者への加算あり）。詳しくは右の二次元コードから確認を。



福島県12市町村
移住支援金につ
いて

Q. 12市町村への移住を検討したい… まずはどこに相談したらいい？

A. 「ふくしま12市町村移住支援センター」へご相談を！ 12市町村の特色・仕事・住まいなどあらゆる相談に対応。移住セミナーや移住体験ツアーも定期的に開催しています。

問い合わせ

TEL 0800(800)3305(平日8:30～17:00)
メール ijyu-shien@fipo.or.jp

ふくしま12市町村移住ポータルサイト
未来 ワーク ふくしま



Q. 実際に市町村を訪れてみたい！ 交通費の支援制度や「お試し移住」制度はある？

A. ふくしま12市町村への移住を検討している方に向けて、現地活動するための交通費・宿泊費の一部を補助する「ふくしま12市町村移住支援交通費等補助金」や気軽に福島での暮らしを体験できる「お試し住宅」を用意しています。

「ふくしま12市町村移住支援交通費等補助金」…1年で最大5回、往復交通費と宿泊費を約半額補助

対象となる
活動例

■ 生活環境、
事業実施可能性
などの相談や調査



■ 就職のための
企業訪問



■ 住まい探し



住みたい街を
見つけたら！

「お試し住宅」を活用しよう

利用料金や期間については各市町村の相談窓口にお問い合わせを

南相馬市 みなみそうま 移住相談窓口よりみち TEL 0244(26)8518	田村市 田村サポートセンター 田村市・東京リクルートセンター TEL 050(5526)4583	川俣町 川俣町役場 政策推進課 まちづくり推進係 TEL 024(566)2111	浪江町 浪江町 移住・定住相談窓口 TEL 0240(23)6357	富岡町 富岡町移住相談窓口 とみおくらし情報館 TEL 0240(23)6983	楡葉町 楡葉町 移住相談窓口 TEL 0240(23)6271
広野町 広野暮らし相談窓口 「りんくひろの」 TEL 0240(27)1251	葛尾村 葛尾村 移住・定住支援センター TEL 0240(23)7727	川内村 川内村移住・定住支援センター (一般社団法人かわうちラボ) TEL 0240(23)7040	双葉町 双葉町 移住定住相談センター TEL 080(1752)9353	大熊町 大熊町 移住定住支援センター TEL 0240(23)7103	point 街歩きや地域との交流 など、現地で過ごして みることで移住後の生 活をより具体的にイメ ージしやすくなります

Q. 移住先の「お仕事探し」をしたい！

A. まずは「働きたいネット」をチェック！ 厚生労働省福島労働局から受託している「福島広域雇用促進支援協議会」が一人一人に寄り添った丁寧なサポートを提供しています。利用は無料。詳しい内容はP11をご覧ください。



気軽にご相談を！

働きたいネット
福島広域雇用促進支援協議会
イメージキャラクター
はたらっこ

12市町村の魅力を紹介

このマークがある市町村では
特典を用意しています。
「FUKURAS」を持参して相談に来た方に

たむらし 田村市

田村市役所
企画調整課

【支援制度】

- 未就学児通常保育料無料
- 市立保育所・幼稚園・小学校給食費無料
- 妊産婦医療費・乳幼児・児童医療費助成
- 子育て世帯住宅取得補助 最大180万円

田村市では、移住してチャレンジしたい方を応援しています。農業・林業に就きたい方、創業・起業したい方へのサポートはもちろん、就労支援を無料でを行っています。また、未就学児の通常保育料の無償化、妊産婦・乳幼児・児童医療費助成など、子育てに関する各種補助制度の充実を図っています。現地体験ツアー・イベントも通年実施していますので、ぜひ、お越しください！



田村市キャラクター
オリオンちゃん

田村市役所/
福島県田村市船引町船引字畑添76-2
Tel.0247(61)7615(平日8:30~17:15受付)

企画調整課 or「たむら移住相談室」にご相談の方には、オリジナルノベルティをプレゼント！



「ちょうどいい田舎」で

チャレンジしてみませんか



屋内遊び場 おひさまドーム

かわまたまち 川俣町

川俣町役場

政策推進課 まちづくり推進係

【支援制度】

- 移住支援金 【世帯】200万円
【単身】120万円
- 空き家改修支援金 最大250万円
- 賃貸住宅家賃補助金 最大4万円/月(最大36月)

川俣町は、JR福島駅から車で約30分、東京から2時間圏内。阿武隈山系の豊かな里山と清流に囲まれながら、街の便利さも併せ持っている町です。賃貸住宅の入居者、二地域居住者などへの支援金のほか、空き家の改修・建て替え等にも支援金があります。また、妊婦さんへのタクシー利用助成、「かわまた認定こども園」の保育料無償化、中学生までの給食費完全無償化など子育て支援も充実。ぜひお気軽にご相談ください。



川俣町キャラクター
小手姫様

川俣町役場/
福島県伊達郡川俣町字五百田30
Tel.024(566)2111(8:30~17:15受付)



充実した支援制度や

移住・定住促進住宅で

新生活を応援します！



かわまたアンスリウム

ならはまち 檜葉町

檜葉町役場

政策企画課 移住・定住係

【支援制度】

- 子育て世帯等住宅取得奨励金
1世帯あたり100万円
(町内に住宅を取得した若年夫婦や子育て世帯)



檜葉町キャラクター
ゆず太郎

檜葉町役場/
福島県双葉郡檜葉町大字北田字鐘突堂5-6
Tel.0240(23)6103(平日8:30~17:15受付)



笑顔とチャレンジが

あふれるまち

ならは



町の特産品「さつまいも」

檜葉町は海、山、川に囲まれた豊かな自然と人のあたたかさに包まれた温暖で住みやすい町です。充実した子育て・教育環境を、お試し移住や就労体験プログラム等を通じてリアルに感じることができます。仕事の求人や支援制度についてもお気軽に移住相談窓口へお問い合わせください。

かわうちむら 川内村

川内村役場

総務課 企画政策係

【支援制度】

- 「来て かわうち住宅取得等支援事業補助金」：〈新築〉最大200万円、〈中古住宅取得〉最大70万円、〈増改築〉最大70万円
- 保育園保育料：無料
- 保育園・小中学園(義務教育学校)給食費：無料 ほか



川内村キャラクター
自然の村長
モリタロウ

川内村役場/
福島県双葉郡川内村大字上川内字早渡 11-24
Tel.0240(38)2111(8:30~17:15受付)



自然豊かな川内村で
のんびりスローライフを！



冥山文庫

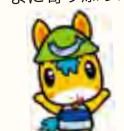
川内村にはおいしいお米やそば、ぶどうやいちご、ワインにクラフトジンなど特産品が数多くあります。また、アルカリ度数の高い泉質で「美人の湯」として有名な温泉施設も人気。条件はありますが、村では新たに住居を取得する方へ最大200万円を補助しています。また、子育て世帯への各種補助(保育料無料、チャイルドシート等購入補助金)も行っております。お気軽にご相談ください。

みなみそうまし 南相馬市

南相馬市役所 商工観光部
観光移住課 移住交流係

【支援制度】

- 移住検討者市内活動交通費支援補助金：タクシー・レンタカー利用料を補助
- お試し住宅：利用料無料、1回につき最大10泊



南相馬市キャラクター
のまたん

南相馬市役所/
福島県南相馬市原町区本町2-27
Tel.0244(24)5269(平日8:30~17:15受付)

オリジナルグッズをプレゼント！



自然と歴史に包まれる

みなみそうまから

はじめよう



相馬野馬追

太平洋に面し、温暖な気候の南相馬市は、一千年以上続く伝統行事「相馬野馬追」開催の地でもあります。移住に関する幅広い支援制度を準備しているほか、「みなみそうま移住相談窓口よりみち」では、移住検討者のみなさまに寄り添ったサポートを提供します。歴史の面影と豊かな自然に包まれ、穏やかに時間が流れる南相馬へ、リフレッシュを兼ねてぜひ遊びに来てください。

ひろのまち 広野町

広野町役場 政策企画課

広野暮らし相談窓口「りんくひろの」

【支援制度】

- 保育料：0~2歳児 無償化
- 給食費：3~5歳児・小学生・中学生 無償化
- 家賃補助：月額上限4万円(最大36月)
- お試し住宅：利用料無料(最大10泊、年3回まで)



広野町キャラクター
ひろぼー

広野町役場/
福島県双葉郡広野町大字下北追字苗代替35
Tel.0240(27)1251(平日8:30~17:15受付)

オリジナルマスキングテープをプレゼント！



子育て環境が魅力

未来実るひろの



ニッ沼総合公園

海沿いに立地する広野町は、寒暖差が少なく温暖な気候です。冬も雪が少ないため、年間を通して過ごしやすいことも特徴です。町では教育に力を入れており、幼児教育から高等教育までを担う学校が建つ「教育の丘」があります。海も山も身近にある豊かな自然環境の中で、幅広い年代の子どもたちが影響を与え合いながら伸び伸びと成長できる魅力的な町です。ぜひ、一度お越しください。

自然・食・観光など魅力あふれる12市町村。街の魅力を各自治体や移住相談窓口のみなさんに教えていただきました。各市町村では移住や子育てに関するさまざまな支援制度があります。新しいチャレンジをここで始めませんか。

とみおかまち 富岡町

富岡町役場

地域創生課 とみおか暮らし推進係

【支援制度】

- 教育費の無償化：町内の小・中学校に通学する児童生徒の就学費を町で負担。新入学用品・学用品・通学日・郊外活動費・修学旅行費等の補助もあります。

東京駅から常磐線特急で直行できる富岡町は、利便性と豊かな暮らしが詰まった町です。冬も雪が少ない温暖な気候の中、買い物やグルメがそろった「さくらモールとみおか」や大型遊具のある公園、医療機関がコンパクトに集結しています。こうした便利な生活インフラに加え、18歳までの医療費や小中学校の給食費無償化など町独自のサポートも手厚く、家族みんなが心にゆとりを持って暮らせる環境が整っています。



富岡町キャラクター
とみっぴー

富岡町役場／
福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚622-1
TEL0240(22)9009(8:00～17:15受付)

オリジナルグッズをプレゼント



のんびりもアクティブも！

富岡町でかなう
私らしい暮らし



桜の名所・夜の森公園で遊ぶ子どもたち
©夜の森ピクニック実行委員会 Photo by Dory誠

おおくままち 大熊町

大熊町役場

生活支援課 移住定住支援係

【支援制度】

- 住宅取得等(新築・中古・修繕)：最大420万円
- 移転補助：最大20万円(移住後1年後)
- 認定こども園・義務教育学校(0歳～15歳)保育料、給食費：無償化

大熊町では令和8年10月に待望のスーパーマーケットがオープンし、さらなる生活環境の充実に期待されます。移住に向けては、大熊町移住定住支援センターで住まい、仕事、生活の相談をワンストップで受け付けており、ご希望に合わせた移住体験プログラムも提供しています。住民同士の交流会も定期的を実施しており、知り合いも作りやすい環境です。大熊町に興味のある方は、ぜひお気軽にご相談ください。



大熊町キャラクター
まあちゃん

大熊町役場／
福島県双葉郡大熊町大字大川原字南平1717
TEL0240(23)7456(平日8:30～17:15受付)

オリジナルノベルティをプレゼント



育つまちで、
一緒に成長して
いきませんか？



大野駅西交流エリア
CREVA おおくま・くま SUN テラス

ふたばまち 双葉町

双葉町役場

双葉町 移住定住相談センター

【支援制度】

- 福島県12市町村移住支援金(単身120万円、世帯200万円)
- 起業支援金(福島県)
- 福島県12市町村空き家改修等補助金(最大250万円)
- 福島県12市町村家賃補助金(上限月額4万円、最大36か月) ほか

令和7年度、駅前にスーパーや飲食店がオープン。令和8年3月にオープンした「MEMEGURU FUTABA(めめぐるふたば)」にはカフェなどバラエティー豊かな3店舗の飲食店が並びます。一歩ずつ着実に復興が進み、ますます生活が便利になる双葉町は、皆さんの新たな挑戦と暮らしを応援しています。まずはお気軽に、移住定住相談センターまでお問い合わせください。



双葉町キャラクター
フタバくん

双葉町 移住定住相談センター／
福島県双葉郡双葉町大字長塚字町12
TEL080(1752)9353
(平日9:00～17:00受付 ※土・日曜日、祝日は予約制)



学びと挑戦があふれる

双葉町を目指して、

まちづくりを進めています！



MEMEGURU FUTABA

なみえまち 浪江町

浪江町役場

観光移住課

【支援制度】

- 住宅取得補助：最大205万円
- 空き家改修支援事業：最大210万円
- お試し宿泊制度：30泊2万円、15泊1万円

太平洋と阿武隈山地の間に位置し、豊かな自然に囲まれた浪江町。東日本大震災や原子力災害により居住人口ゼロから再出発を踏み出したこの町は、水素の地産地消を実現する最先端のテクノロジー、町に新たなにぎわいを生み出す浪江駅周辺整備、F-REIの立地、起業を後押しする取り組みなど、可能性に満ち溢れています。少しずつ、でも着実に前進するこの町ではあなたのほんの少しの勇気が、無限の可能性につながります。



浪江町キャラクター
うけどん

浪江町役場／
福島県浪江町大字幾世橋字六反田7-2
TEL0240(23)5764(8:30～17:15受付)



RESTART

～再出発の町～



かつらおむら 葛尾村

葛尾村移住・定住支援センター

【支援制度】

- 復興移住支援金 世帯最大200万円(単身最大120万円)
- みらい子ども助成金 児童1人あたり毎月2万円(児童手当の上乗せ給付)
- 出産祝い金 第一子10万円、第二子20万円、第三子以降30万円

葛尾村は、山々に囲まれ、豊かな自然が織りなす四季折々の原風景が残るとても小さな村です。県外からの作家などの移住者に対して、独自の支援金を準備しています。

また、子育て支援施策も充実しており、就園・就学費用の無償化、外国語・ICT教育の充実、海外修学旅行など、少人数ならではの魅力ある教育が特徴です。



葛尾村キャラクター
しみちゃん

葛尾村移住・定住支援センター／
福島県双葉郡葛尾村大字落合字落合20-1
TEL0240(23)7727(9:00～17:00受付)

葛尾村移住・定住支援センター or 復興推進室に
ご相談の方に、ノベルティをプレゼント



教育支援が充実し、
子育て世帯に優しい村！



深紅のじゅうたん「クリムゾンクローバー」

いいたてむら 飯館村

いいたて移住サポートセンター

【支援制度】

- 空き家等購入補助金 最大200万円
- 住宅修繕等補助金 最大100万円
- スタートアップ補助金 最大200万円
- 子育て応援支援金 小中学校入学時 各10万円/人、高等学校入学時 20万円/人

飯館村は、「美(うる)わしく清らかな村」を守り続け「明日が待ち遠しくなるような、わくわくする楽しいふるさと」を目指し、新たな歩みを進めています。移住をする際の住宅に対する補助のほか、村での生業を始める方を応援する各種制度をご用意しております。意欲一つあれば、あらゆる可能性を見いだせる自然豊かな村です。ぜひ、「ふるさとの担い手」の輪と和が広がっていく、そんな村ぐらしを体験してみませんか。



飯館村キャラクター
イタネちゃん

いいたて移住サポートセンター／
福島県相馬郡飯館村伊丹沢字伊丹沢578-1
TEL0244(68)2850(10:00～17:30受付)



自然豊かな村で
スタートしませんか



村民の森あいの沢



働きたい
ネットの

企業説明会

リポート

2026年6月26日(金)にビッグパレットふくしまで企業説明会が開催されました。その時の様子をリポートします。



ハローワークに登録している 福島県内の企業64社が出展

6月26日(金)、福島県郡山市にある複合コンベンション施設「ビッグパレットふくしま」で開催された「ふくしまで働こう！ 働きたいネットの企業説明会」。サービス・製造・情報通信・建設・小売など福島県内の企業64社が出展しました。会場には高校生や社会人など福島でのお仕事を探している約400人の方が来場。各ブースでは実際に働く社員の方から企業概要や事業の内容、実際の業務内容などを聞くことができました。来場者は「自己紹介カード」を持ちながら各ブースを自由に見学。企業への理解を深め、働くイメージを具体的に描ききっかけとなりました。



高校生から社会人まで400人が来場 仕事内容や福利厚生についてじっくり情報収集

担当者との距離が近く、じっくり話を聞くことができるのも魅力です。社内制度や福利厚生などの質問にも分かりやすく説明。主催する福島広域雇用促進支援協議会会長・渡邊典子より「就活は情報を集めることがとても大切。『知っている』というだけでも将来の選択肢はグンと広がります。まずは少しでも気になる企業の話を聞いてみる。ところから一歩踏み出してみてください」とのアドバイスがありました。



同時開催イベント 移住説明会

ふくしま12市町村への移住を考えている方々を対象に「移住説明会」も同時開催されました。"全国最高クラス、と言われる支援制度や街の雰囲気、気候状況など実際に住んでいる人だからこそわかる「今」の情報を紹介。参加者からは「ネットだけでは得られない情報もあり、直接話を聞いたのが良かった」「条件に合いそうな仕事を後日フィードバックしてもら



えられるそうなので助かります」「具体的な移住のイメージはなかったものの、親身に話を聞いてもらえた。これをきっかけに前向きに考えてみたい」などの声が寄せられました。



ふくしまで働こう！

企業説明会 次回開催は…

- 開催日 令和9年1月15日(金)
- 場所 ビッグパレットふくしま(福島県郡山市)
- 参加費 無料



お問い合わせ

福島広域雇用促進支援協議会

福島市中町4番20号 エスケー中町ビル202号

TEL.024-524-2121 平日 9:00~12:00 13:00~16:30

働きたいネット

検索



働きたいネット 公式SNSで最新情報配信中！



●公式LINE ●公式YouTube
●公式Instagram ●公式FaceBook



求職者向け

企業向け

働きたいネット

移住は？と思ったらお仕事探しも始めませんか。

働きたいネットは、一人一人に寄り添い

就職・転職を丁寧にサポート！ **利用はどれも無料！**

就職相談

まずは、気軽に相談してみよう！

 **0120-810-650**

あなたの就職・転職の悩みを一緒に解決していきましょう！



求職者の就活をサポート For job seekers

企業と求職者をつなぐ Matching

一人一人に合った 就職・転職をサポート！



就活をサポート！

就職相談

あなたの「働きたい！」に寄り添います！



「就活は何から始めるの？」「働きながらの転職が不安」「定年後も働きたい！」「年齢的に採用してもらえるの？」そんな不安を一緒に解決していきませんか。あなたの「働きたい」を丁寧にサポート！フリーダイヤル、メール等で気軽に相談できます。

就活ワークショップ(求職者カフェ)

専門スタッフが就職まで全力でアシスト！

応募書類作成や面接対策、証明写真の撮影、ビジネスマナー等、様々な就職支援をご用意。ご希望の支援を受けられます。利用無料。若者からシニアまでお気軽にお越しください。



社会人基礎力セミナー

就活や仕事が上手にいくコツ教えます。



NLPコミュニケーション(言葉と心の使い方)を用い自己認識を見直して信頼関係の構築やコミュニケーション力のアップを目指しませんか。採用面接や仕事に活かし、なりたい自分に近づきましょう。

就活の必須スキル！

実践型Word・Excelパソコン講座

実践的なパソコン技術を習得して、早期就職を目指そう！

どのような業種においても、パソコン操作能力は求められています。基本操作からケーススタディを使った実践的な内容を短期間で学べます。応募書類を作成する時間もあり、学習したデータを持ち帰り活用できます！



ミスマッチを防ぎ 企業と求職者をつなぐ！



新しい仕事に一步踏み出す！

企業見学

求人に応募する前に企業を見てみませんか？

応募したいけれど、どんな会社だろう？雰囲気はどうだろう？そんな方は、企業見学へ！求人票だけではわからない企業の魅力や仕事の内容、働く環境を知ることができます。応募前にしっかり確認することが大切です！スタッフが同行するので安心して見学できます。



職場体験学習

職場体験でお仕事の不安解消！自身UP！

様々な業種・職種で、興味のある仕事を実際に体験するチャンスです！「どんな仕事なのか」、「どんな雰囲気なのか」を体験すると、不安が解消され、自信につながります！働くイメージを描いてみませんか。



企業の情報収集に！

帰還就職企業説明会

ふくしまで働こう！様々な優良企業が集結！

「スゴイ企業が！」「この仕事やってみたい！」発見と出会いがあります。求人への質問など気軽に聞ける企業説明会。就職相談、自治体等による **移住支援** など。仕事探しの情報収集やきっかけづくりに参加してみませんか。



就職面談会

“情報収集”で就活を一步前へ！



短時間で複数の企業と話せる就職面接会を活用しませんか。求人票には載っていない魅力を企業から直接聞ける機会です。就職面接会は採用の近道！

行くかい！！

「福島広域雇用促進支援協議会」って？

福島広域雇用促進支援協議会は、原子力災害被災地域の雇用の安定を図るために設立いたしました。12の市町村、18の経済団体、それに福島県の合計31の会員と避難先である自治体や経済団体等のオブザーバー会員で構成されています。地域による自主性・創意工夫のある取り組みを支援することが大切であることから、協議会が提案した雇用対策、就職支援に関わる事業から効果が高いものを国が選定しています。それらの事業を協議会が厚生労働省福島労働局から受託し、活動を行っております。



【学び舎 ゆめの森】

福島県大熊町にある町立学校。義務教育学校と認定子ども園が同じ建物内にあり、0歳～15歳までの子どもたちが交流しながらともに学んでいます。学校名には「在りたいゆめと、為しうる力を育む、子どもたちがゆめの花を咲かせる大樹となる」という願いが込められています。

ふくしまで働く・暮らす・新しい私
FUKURAS ふくらす

発行 働きたいネット
福島広域雇用促進支援協議会
(厚生労働省福島労働局委託事業)

制作 福島リビング新聞社

発行日 令和8年7月17日
